



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

2024年度
受講生募集

“解”のない時代

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繋型教育プログラム：QBIC（キュービック）

Question-Based Innovation and Career education program for societal transition



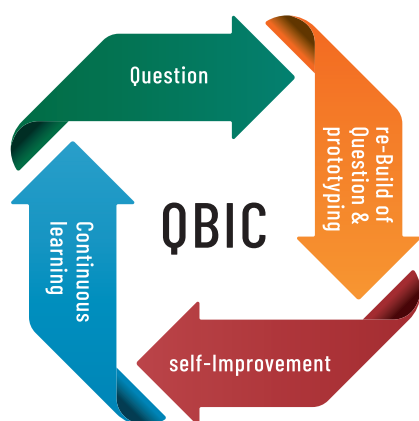


転換期の社会に求められる力を培うための 産学連繋型教育プログラム：QBIC（キュービック）

Question-Based Innovation and Career education program for societal transition



「問いを立てる力」と「学び続ける力」



Question

多様なミカタ／多面的な捉え方による「問い」の創出

re-Build of Question & prototyping

「問い」の実践によって「解のない」時代への向き合い方を学ぶ取る

self-Improvement

変化に挑戦する姿勢と自信を身に付ける

Continuous learning

転換期の社会に必要な教養力を学びあうことで培う

解のない時代と言われるほど、予測困難であり前例が通用しない転換期を迎えた現代社会。これまでの連続的な成長感を求める思考ではなく、突然訪れる不連続な社会にも対応していくための思考が必要になります。そのためには、何が問題なのかを深く思考するための「問いを立てる力（問題発見／設定力）」と、自身の学びによって不連続性を繋げて行くことを志向した「学び続ける力」が求められます。

これらの力を培うためにQBICプログラムでは、「産」と「学」が連繋したリベラルアーツ教育とキャリア教育が融合した2つのプログラムを実践し、リベラルアーツに支えられた思考力と自らのキャリア観にもとづくこれからの時代の教養力を醸成します。

01

Step-up
プログラム

自らの視点で社会の中の問題を
再定義（問題発見）する

問いの創出

自らが生きる未来社会を描きつつ、現代の社会問題に対してチーム内での徹底的な議論を行うことで、多様な視点から「問いを立てる」ことを目標に、これからの時代の教養力を身につけるためのプログラム。良い「問い」は良い「学び」から生まれることを学ぶ。

実施科目

大阪公立大学	「キャリアと実践」 (総合教養科目、キャリアデザイン科目) 配当年次：1～2年次、後期集中
大阪大学	「キャリアデザインと社会実装Ⅰ」 (全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー) 後期集中

02

Jump-up
プログラム

他者との学びあいを中心に
「問い」を社会に対して実践する

問いの実践

事例分析を土台にSDGsなどの社会問題に対する自ら（チーム）のミカタで解像度を上げていくことで、社会において必要とされる「問い」と課題解決策を実践ベースで考え抜くプログラム。良い課題解決策は、良い「問い」から導かれることを学ぶ。

実施科目

大阪公立大学	「キャリアと実践2」 (総合教養科目、キャリアデザイン科目) 配当年次：2年次、前期集中
大阪大学	「キャリアデザインと社会実装Ⅱ」 (全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー) 前期集中

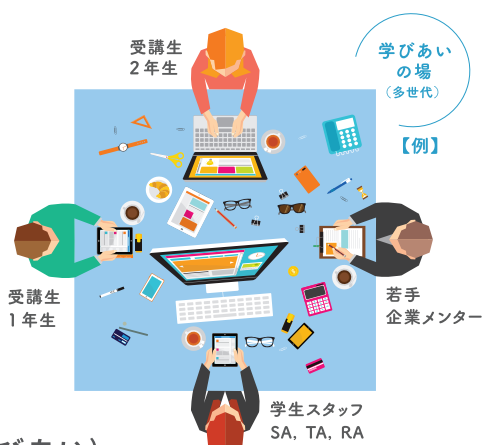
4つの観点から、未来社会に対応するための教養力を醸成していくことを目的に、
「問いを立てる力」「学び続ける力」を育成していきます。



「問いを立てる力」(「問い立て」にむけた教養力の育成)

これからの社会において必要とされる良いソリューションは良い「問い」から導かれることに鑑み、プログラム全体では4つのプロセスを実践することで、これらの社会において必要な力を培います。
この一連の過程を通して、これからの社会において必要となる「問い」を研ぎ澄ましていくことに挑戦します。

- 1 教員や社会人メンターによる支援と分野を超えた学生同士の対話により問題の切り口に対する多様なミカタを獲得する
- 2 リサーチクエストン(仮説)を立てる
- 3 キャリア観から導かれる未来のビジョンを描く
- 4 未来社会に向けた「問い」を設定する



「学び続ける力」(共創による学びあい)

産学連繋により、世代や立場が多様なメンバーで構成される学びを実践する場を共創します。受講生、学生スタッフ、教員、社会人など、立場が異なる様々なメンバーが参画することで普段の授業では交わらない他者と切磋琢磨し世代を超えた学び合いから「学び続ける力」を醸成していきます。



QBICプログラムでは、多様なメンバーが学び合いの場を形成(共創)し、それぞれの立場での学び(成長)に重点をおくことで、学びの世代間の循環が形成されることを目指していきます。特に大学1~2年次生に対しては、学び(学び方)の形成を高校から大学そして社会へと転換させるための重要な転換(接続)点でもあり、これから描くキャリアの中で一直線に繋がった学びを意識することで「学び続ける力」が醸成されることを期待します。多種多様なメンバーが集まり、現在の社会問題に対して多角的なミカタや切り口から、今後の社会がどのように変容していくかを考えることで未来共創の場を形成していくことも、もう1つの目的です。



前年度ワークショップの様子。産学連繋による循環する学びの場を形成した。

QBICプログラム 2024年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、各大学のシラバス等で確認をしてください。

01 Step-up プログラム	問いの創出		主な対象：1～2年生
	大阪公立大学	大阪大学 (2024年度から新規開講)	new!
科目名	キャリアと実践1	キャリアデザインと社会実装 I	
第1回目	10月12日(土) ※10時30分～17時	10月12日(土) ※10時30分～17時	
第2回目	11月16日(土) 午後	11月16日(土) 午後	
第3回目	12月26日(木) 午後	12月21日(土) 午後	
第4回目	2月7日(金) 午後	2月8日(土) 午前	
第5回目	2月8日(土) 午前		
	2月8日(土) 午後 交流プログラム実施		

午前＝9時00分～12時30分 午後＝13時～17時30分

02 Jump-up プログラム	問いの実践		主な対象：2年生
	大阪公立大学 (2024年度から新規開講)	大阪大学 (2024年度から新規開講)	new!
科目名	キャリアと実践2	キャリアデザインと社会実装 II	
第1回目	4月20日(土) ※全日		
第2回目	5月18日(土) ※全日		
第3回目	6月15日(土) ※全日		
第4回目	7月13日(土) ※全日		

全日＝9時30分～17時30分

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 ▶国際基幹教育機構／市田(いちだ) h.ichida@omu.ac.jp

大阪大学 ▶キャリアセンター／家島(いेशしま) ieshima@career.osaka-u.ac.jp

授業アンケートより



授業を受けたことで感じる
成長を教えてください！



チームでの経験を経て、
自分には何が得意で何が不得意かがわかった。



自分の意見を主張するだけでなく、
チームを考えた言動により全体を
円滑に回す力が得られた。



メンターから学んだことを
教えてください！



物事を抽象的に一般論として
分かりやすく説明する重要性。



ビジネスで重要にされている
考え方や視点。



授業全体の感想は？



4回目のワークショップが終わったあとの
達成感がとてつもなく大きかった。



授業の掲げる理想や自発的な
行動に任せる授業スタイルが良かった。

※2023年「キャリアと実践1～問いの創出～」(大阪公立大学)の取り組みから



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



エッジソン・
マネジメント協会
EDGEISON MANAGEMENT
ASSOCIATION



一般財団法人
三菱みらい育成財団

本事業は、三菱みらい育成財団・大学・NPO等が行う「21世紀型教養教育プログラム」カテゴリー 4助成事業(2023年度採択)の助成を受けて実施しています。

2024年度 受講生募集

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繋型教育プログラム:



Question-Based Innovation and Career education program for societal transition (キュービック)

「問いを立てる力」と「学び続ける力」を伸ばす

『キャリアと実践』



失敗すること、
考え直すことの
大切さを学べる場所

終わった後の
達成感が半端ない

この授業を
ひとことで
表現すると!

「問う」という
ことへの入り口

自由と成長

「キャリアと実践」で得た
知識・思考法・経験はこれ
から生きていく上で重要
なものになります! この
授業に興味を持つ方の他、
何か成し遂げたいと思う
方、何か変わりたいと思う
方、キャリアというものに
触れたい方には是非是非お
勧めします!!

とても大変な期間になると思
います。しかし、この期間は今
まで体験したことのないもの
になり、社会人メンターさんか
らの言葉はこれから生きてい
く中でとてもためになります。

先輩受講生からの
おすすめポイント!

自分で作る
ジェットコースター

烏兔匆匆

この授業を受講するにはそれなりの
覚悟があると思います。どのような
覚悟だとしても、主体的に学んでい
こうとする姿勢がとても大切です。
少しでも迷っているのならば、一歩
踏み出して受講してみてください!
この授業でしか得られない経験がた
くさんあります。

成長したいという意欲
がある人にはもってこ
いの授業です。きっと
最後には「楽しかった!」と言えるようにな
ります。社会に散らばっ
ている問題を自ら手に
とって考える力を、こ
こで磨きませんか。

しんどいけど、
きっと成長できる!

超忙しいけど
ハイリターン

最後までやり遂げて
こそその授業

単位は他の授業でも取れますが、
この授業でしか得られない学び
がたくさんあります。



QBICプログラム 2024年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、大学のシラバス等で確認をしてください。

自らの視点で社会の中の問題を再定義（問題発見）する

他者との学びあいを中心に「問い」を社会に対して実践する

01 問いの創出

主な対象：1～2年生

Step-up
プログラム

科目名

キャリアと実践1

第1回目	10月12日(土) ※
第2回目	11月16日(土) 午後
第3回目	12月26日(木) 午後
第4回目	2月7日(金) 午後
第5回目	2月8日(土) 午前

2月8日(土) 午後
大阪大学との交流プログラム実施

※＝10時30分～17時 午前＝9時00分～12時30分 午後＝13時～17時30分

02 問いの実践

主な対象：2年生

Jump-up
プログラム

科目名

キャリアと実践2

大阪大学との協働開講、合同チームを形成します。

第1回目	4月20日(土) 全日
第2回目	5月18日(土) 全日
第3回目	6月15日(土) 全日
第4回目	7月13日(土) 全日

全日＝9時30分～17時30分



授業アンケートより

Q

授業を受けたことで感じる成長を教えてください！

A

チームでの経験を経て、自分には何が得意で何が不得意かがわかった。

A

自分の意見を主張するだけでなく、チームを考えた言動により全体を円滑に回す力が得られた。

A

様々な困難があり、それに対応することを迫られ、乗り越えられた。

Q

メンターから学んだことを教えてください！

A

物事を抽象的に一般論として分かりやすく説明する重要性。

A

ビジネスで重要にされている考え方や視点。

A

まず何を「優先するか」という考え方。

Q

授業で印象に残っていることは？

A

私たち自身の考えがステレオタイプに囚われていることに気づいたこと。

A

授業に参加した学生の多様性。自分だけだと選ぶことがなかっただろうテーマに取り組む機会を得ることが出来た。

A

様々な視点をもったメンターの方々から指摘をたくさんもらえ刺激になった。

Q

授業を終えての満足度は？

A

将来に繋がる知識、考え方、経験が出来、満足している。

A

プロジェクトや意思決定などの練習をすることができて良かった。

A

成長には繋がったけど少し大変過ぎた。

Q

授業全体の感想は？

A

4回目のワークショップが終わったあとの達成感がとてつもなく大きかった。

A

授業の掲げる理想や自発的な行動に任せる授業スタイルが良かった。

A

本当に大変すぎた授業だったが、ただ席に座って講義を受けているだけでは得られないものを頂けたなと感じた。

A

普段の授業では決して得られない、質の高い問いを立てること、チームで社会問題について本気で考えるとてもよい機会だった。

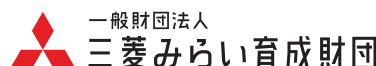
A

自分に何が足りていないとか、何が得意なのかなど、自分自身を知る機会でもあったと感じ、自己成長に繋がった。

※2023年「キャリアと実践1～問いの創出～」(大阪公立大学)の取り組みから

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 国際基幹教育機構／市田(いちだ) h.ichida@omu.ac.jp



本事業は、三菱みらい育成財団 大学・NPO等が行う「21世紀型教養教育プログラム」カテゴリ 4 助成事業（2023年度採択）の助成を受けて実施しています。